



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回臨時会・第1回定例会	2~3
令和6年度一般会計・特別会計予算	4
第8期羅臼町総合計画	5
一般質問	6~10
Zoom up !	11

令和6年

第**178**号

4月25日



羅臼幼稚園入園式 (写真提供：地域おこし協力隊 近藤 雨)

令和5年度追加予算決定!!

去る2月15日、令和6年第1回臨時会、3月6日第1回定例会が行われ、各会計補正予算、人事案件、条例改正、新年度予算などが審議され、すべて原案通り可決した。

一般会計補正予算 3,223万円減額 総額 61億3,513万円

(抜粋)

災害対策に要する経費	44万4千円
特別会計繰出金に要する経費	1,100万円
議会議員に要する経費	△131万円
交通安全指導員に要する経費	27万円
町有バスに要する経費	1,691万円
町営住宅に要する経費	△1,601万円
知床物産展に要する経費	△90万円
電算システムに要する経費	167万円
ふるさと納税に要する経費	1,500万円
戸籍住民基本登録事務に要する経費	463万円
戸籍電算システムに要する経費	△140万円
監査に要する経費	△26万円
防災行政無線管理に要する経費	36万円
障がい者自立支援事業に要する経費	53万円
特別会計繰出金に要する経費	△100万円
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	63万円
合併処理浄化槽普及事業に要する経費	△376万円
し尿処理に要する経費	△195万円
一般廃棄物最終処分処理負担金	△937万円
一般廃棄物処理に要する経費	△400万円
水産系廃棄物焼却処理業務委託料	△737万円
漁港に要する経費	26万円
幼稚園の管理に要する経費	△28万円
図書館管理運営に要する経費	△246万円

国民健康保険事業特別会計

補正額 150万円減額 総額 9億7,451万円

共同電算化に要する経費	△78万円
保険事業に要する経費	△30万円
国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	△42万円

介護保険事業特別会計

補正額 80万円増額 総額 4億9,840万円

介護保険業務に要する経費	80万円
--------------	------

後期高齢者医療事業特別会計

補正額 140万円減額 総額 7,646万円

後期高齢者医療広域連合納付金	△140万円
----------------	--------

教育行政執行方針

1) 子供1人ひとりの可能性を引き出す教育

- 教育環境の充実
- 幼小中高一貫教育
- 読書習慣の確立
- 特別支援教育の推進
- キャリア教育の充実
- 体力、運動能力の向上
- 道徳教育の充実
- ふるさと教育の充実
- グローバル人材の育成

2) 学びの機会を保障し、質を高める環境の確立

- ICTの活用推進
- 教職員の資質・能力の向上
- 働き方改革の推進
- 学びのセーフティネットの構築
- 地域と学校の連携・協働の推進
- 子育て支援・家庭教育支援
- 生涯学習・社会教育の振興
- 安全安心な教育環境の構築
- 芸術文化活動の推進

行政執行方針

1) 地域資源を活かした活力ある産業

- 前浜資源増大対策事業支援
- 携帯電話中継基地局整備
- 「海業」の推進
- 外国人観光客受入整備
- ふるさと納税増額
- 人口減少対策・人手不足対策

2) 一人ひとりが心穏やかに過ごせるまち

- 地域包括ケアシステムの推進
- 医療職・介護職の人材確保
- 子育て等、多様なニーズに応じた支援

3) 人と自然が共生し、安全安心に暮らせるまち

- ヒグマ対策強化
- ゼロカーボンシティ推進・強化・研究
- ブルーカーボンの羅臼モデル化
- 地域公共交通計画の策定

4) 豊かな心を育み明日へとはばたくまち

- 子供達にとって望ましい教育環境の充実
- 公園等の施設整備

5) 持続的な行財政運営

- DX等の活用

役 職		改正前	改正後
町	長	637,000円	677,000円
副	町 長	535,000円	576,000円
教	育 長	501,000円	531,000円
議	長	222,000円	278,000円
副	議 長	178,000円	223,000円
常	任 委 員 長	159,000円	199,000円
議	員	148,000円	185,000円

給与及び報酬等変更

企画振興課↓企画財政課
環境生活課↓町民環境課
に変更する。

条例制定



知床未来中



羅臼漁港

令和6年度各会計予算総括表

(単位：千円)

会計名	区分	令和6年度	令和5年度	比較増減
1. 一	般 会 計	5,115,959	5,452,674	△336,715
2. 特	別 会 計	1,764,161	1,838,318	△74,157
内 訳	国民健康保険事業特別会計	976,071	966,388	9,683
	介護保険事業特別会計	484,630	482,943	1,687
	後期高齢者医療事業特別会計	81,950	75,088	6,862
	国民健康保険診療所事業特別会計	221,510	313,899	△92,389
3. 公	営 企 業 会 計	240,517	315,389	△74,872
内訳	水 道 事 業 会 計	240,517	315,389	△74,872
合	計	7,120,637	7,606,381	△485,744

令和6年度一般会計予算の主な事業

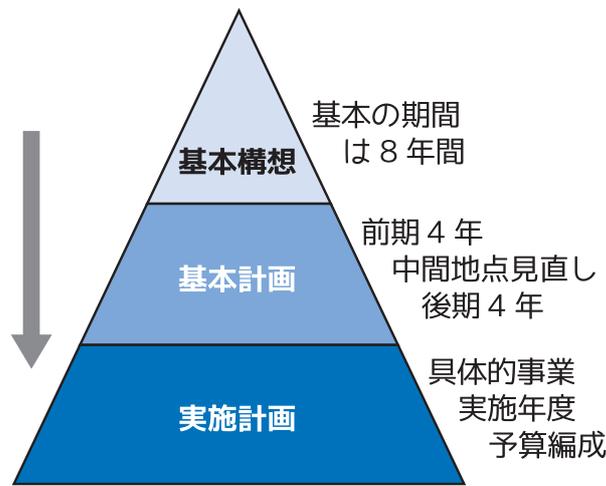
(単位：千円)

費目	事業名等	事業費	費目	事業名等	事業費	
議会費	議会映像YouTube配信事業	728	衛生	根室北部衛生組合負担金等(し尿処理)	76,044	
総 務 費	インターシップ受入事業	299	衛生	根室北部廃棄物処理広域連合負担金	114,303	
	役場職員スキルアップ研修助成事業	1,000	衛生	根室北部一般廃棄物最終処分処理負担金	29,557	
	デジタル専門人材支援事業	17,559	衛生	ヒグマ検知ソリューション及び大型ドローン導入事業	7,616	
	北方領土洋上慰霊事業	112	衛生	ヒグマ対策DNA解析事業	600	
	町営住宅等建替推進事業	40,064	衛生	ヒグマ対策電気柵改修事業	25,427	
	町営住宅ストック総合改善事業	96,016	衛生	ヒグマ対策電気柵維持管理事業	2,885	
	職員住宅改修事業	47,400	農林	中山間地域等直接支払交付金	9,249	
	地域おこし協力隊事業(移住定住 1名)	5,410	農林	道草草地整備改良事業	1,000	
	羅臼町緑町デジタルテレビジョン放送局支障木伐採事業	4,233	農林	地域水産物流通供給基盤整備事業補助(ウニ囲い礁)	19,500	
	移住・定住促進補助事業	2,700	農林	増養殖事業補助(ウニ種苗移植、ヒトデ駆除)	13,542	
	奨学金返還支援事業	180	水産	増養殖事業補助(ホタテ・ナマコ放流)	6,310	
	自治体DX推進事業(自治体情報システム標準化・共通化等)	7,395	水産	昆布繁茂対策事業	3,838	
	羅臼町地域公共交通検討事業	4,220	水産	漁港改修局改事業(相泊漁港)	6,666	
	ふるさと納税推進事業	700,000	水産	漁港機能増進事業(知円別漁港)	4,200	
	未来創造事業	2,500	商	住宅リフォーム補助金	900	
	Kプロジェクト推進事業(陸上養殖事業推進補助金)	578	商	起業支援補助事業	7,500	
	釧路・根室広域滞納整理機構負担金(一般会計分)	2,252	商	総合プロモーション事業	10,000	
	防災備蓄品更新事業	1,188	商	新イベント運営補助事業	7,000	
	民 生 費	老人福祉センター改修事業	60,388	商	アドベンチャーラベル高付加価値型旅行造成事業	4,000
		老人福祉センターエアコン整備事業	4,000	工	知床国立公園60周年記念事業	4,797
介護施設生活保護者受入補助事業		2,760	工	ルサフィールドハウスから発信する陸と海のシレコプロジェクト推進事業	1,500	
介護職員人材確保支援事業		6,780	工	知床ルサ・プロジェクト(ルサ川河川改修)	2,400	
第3期羅臼町子ども・子育て支援事業計画策定事業		4,565	工	知床羅臼野遊びフィールド管理棟増築等整備事業	30,762	
子育て支援センターエアコン整備事業		3,500	費	自然とみどりの村遊具整備及び周辺利用検討事業	1,000	
放課後児童クラブ事業		18,809	費	農林漁業体験実習館Wi-Fi整備事業	593	
小規模保育事業		25,129	費	温泉供給施設等整備事業	7,850	
第3子以降出産祝い金助成金		600	費	温泉スケール対策事業	5,800	
出産・子育て応援交付金事業		1,750	土木費	地熱対策アドバイザー業務委託事業	825	
包括支援センター運営事業委託(介護事業会計分)	12,500	土木費	道路・排水施設等整備事業	90,000		
衛 生 費	地域医療政策費負担金(診療所会計分)	150,000	土木費	道路舗装修繕事業	22,000	
	診療所医療機器整備事業(診療所会計分)	13,970	教 育 費	外国語指導助手(ALT)事業(2名)	10,188	
	診療所エアコン整備事業(診療所会計分)	5,000	教 育 費	コオーディネーショントレーニング事業	849	
	脱炭素に関する事業	1,301	教 育 費	北海道羅臼高等学校支援事業	9,069	
	省エネ設備普及促進費	3,000	教 育 費	小・中学校エアコン設置事業	5,993	
	生ごみ処理機購入助成事業	600	教 育 費	幼稚園エアコン設置事業	3,813	
	子ども医療費助成事業	7,657	教 育 費	子どもの自律・親力向上講演会実施事業	500	
	合併処理浄化槽設置整備事業助成金	6,290	教 育 費	中高生のための学び場提供事業	1,586	
	単独処理浄化槽撤去費用補助金	780	教 育 費	図書館Wi-Fi整備事業	299	
	新規狩猟者育成事業	180	教 育 費	図書館オープニング事業	231	
	妊婦健診等助成事業	1,523	教 育 費	郷土資料館LED改修事業	11,946	
	妊婦健康診査交通費助成事業	444	教 育 費	地域おこし協力隊事業(スポーツ振興 1名)	5,410	
	産後ケア費用助成事業	25	教 育 費	羅臼町運動スポーツ習慣促進事業	3,000	
	1か月児健康診査助成事業	60	教 育 費	町民温水プール改修事業	33,638	
	低所得妊婦初回受診料助成事業	30	教 育 費	学校給食センター補修事業	18,150	
帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業	2,320					

第8期

羅臼町総合計画 について

「第8期羅臼町総合計画」は、これまで以上に羅臼町の地理的特性や自然環境、海の恵みなど、魅力的な優位性や可能性を最大限に活かしながら、町民、団体、関係機関、行政が力を合わせ、新たな時代にふさわしいまちづくりを進めるとともに、一人ひとりが生きがいを持って活動し、様々な世代の人たちが互いに支え合い、健康で豊かに幸福に暮らせる持続的なまちづくりを進めるための最上位計画として策定されています。



令和6年度～令和13年度
人・まち・自然いきいき 未来創造
～魚の城下町 らうす～

前期（4年）基本計画

- 将来目標** 人・まち・自然いきいき 未来創造 ～魚の城下町らうす～
- 基本方針** 自助・公助・共助による協働のまちづくり
- コンセプト** 今できること、今こそやるべきことへの挑戦

重点施策の内容

Kプロジェクトの推進	空き家、空き店舗の活用、未来創造会議など
ゼロカーボンシティの推進	再生可能エネルギーの利活用、地熱エネルギーの供給や利用、ブルーカーボンの可能性の調査など
人口減少対策	通年雇用対策、マッチング事業の推進、外国人労働者の受け入れなど
地域公共交通の充実	地域公共交通計画の策定、新たな公共交通の実装など
自治体DXの推進	DXを活用した住民サービスの向上、DXを担える人材の育成
教育環境の充実	適正配置計画の協議・策定、魅力ある高校作りの推進と支援の継続など
公共施設の適正管理	施設保有量の最適化、時代に合った施設改修・整備、各施設の在り方の検討など

「ここが聞きたい」一般質問Q & A

議員は毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会で、町政全般に対し、質問することができます。これを「一般質問」と言います。

今回は5名の議員が質問しました。

本文は、質問した議員本人の責任で執事（要約）した原稿を掲載しています。

令和6年 第1回定例会 一般質問



小川 雅勝 議員

防災対策について (計画的な水道の整備について)

質問

災害時には、ライフラインの復旧が急務とされます。特に水は飲料水、生活用水とどちらも欠かす事ができず、また復旧作業には莫大な費用と時間がかかります。当町においては今年度四回の断水があり、そのうち本町の断水では小学校の臨時休校、また岬町では漏水箇所が特定できず四日間の断水という事態となりましたが、断水の原因は水道管の老朽化による破損が原因と聞いています。水道管総延長に対して老朽管は何%位あるのか、また計画的な整備が必要な状況と思われませんが老朽管の整備計画

はあるのか伺います。

長屋町 水道施設全体の更新計画をできるだけ早めに策定する

湊屋町長

水道施設は岬町、湯ノ沢町、峯浜町の三つの浄水場施設で、総延長約八十二kmの排水管により供給しています。

排水管の法定耐用年数が四十年で、約三十kmが法定耐用年数を超過、割合として約二十七%が老朽管となっており、そのうち石綿管が約七km残っています。計画的な整備が必要な状況であるが企業債償還金が経営を圧迫し、整備を行えない状況です。しかしながら本年一月の長期にわたる断水事故など、町民の皆様にご不便をおかけしている状況や、令和九年度で企業債の償還が終了する事などから、水道施設全体の更新計画をできるだけ早めに策定し、老朽施設の更新に着手できるよう努めます。

再質問

石綿管が約七km残っているという事ですが、管の破損は主に石綿管なのか。

建設水道課長

管の破損については、石綿管もあるのですが塩ビ管などもあり、一概に石綿管という事ではありません。

再質問

漏水については、令和元年の数値になりますが、有収率が約四十%、その他収益にならない水が仮に十%二十%とすると、漏水は単純に四十%五十%となり、また施設利用率が増加し有収率が減少しているという事は漏水が増加しているという理解してよろしいですか。

建設水道課長

漏水については、漏水調査を行って対策を講じていますが、一向に有収率は上がらない状況です。その原因が水道本管なのか家庭に行く給水管なのか突き止められない現状です。漏水調査は毎年地区を絞って行い漏水の補修を行っています。

再質問

能登半島地震においては断水が広範囲で起き、復旧が長期化しています。その理由について複数の自治体は「地震の規模に加え、財源が限られる中、老朽化が進む水道管の耐震化が進んでいなかった事」が挙げられています。当町においては地形的に排水管を通す場所が無いなど問題が挙げられています。破損の度に補修をしても本整備をした場合その補修が無駄になるのではと思います。しっかりとした管路の全体計画があれば、それに基づき補修や整備ができ、また万が一災害が起きた場合はその計画に基づいた復興が可能だと思います。

小川議員その他の質問

- ・ 役場庁舎の機能不全時の代替拠点について
- ・ 防災行政無線の設置率について
- ・ 災害時のドローンの活用について
- ・ 避難所の状況について



浜岸 昭仁 議員

防災無線について

質問

町民を始め町外の観光客の方々に對しても、災害や緊急時にいち早く情報を得る事が必要と考えますので、飲食店や商店等の接客業者に対し無料で防災無線を羅臼町内の全店舗に設置する事が必要だと思いますが、町長の見解をお伺いします。

町長 購入の上設置頂けますようお願いします
 湊屋 ます

湊屋町長

現在羅臼町におきましては五六一事業所中、すでに一九〇事業所が有償により防災行政無線を設置しておりますので、その整合性から無償での設置は困難と考

つきましたは、未設置の事業所に対しましては従業員や来客者のためにも、購入の上設置頂けますようお願いしてまいります。

ただし、災害時の情報伝達方法は防災行政無線のみではございません。

防災行政無線と同様の情報は、登録手続きを行うことにより、「防災情報メール」や「羅臼町公式ライン」にてほぼ同時に情報入手が可能となっておりますので、諸事情により無線の設置が難しい場合は、こちらの登録

道の駅駐車場について

質問

録をお願いするように努めてまいります。

正面玄関前がイベント用につき駐車禁止となっております。南側駐車場が個人客、北側駐車場が大型バスと分けられた事により、令和五年度入場者数が南側出入口からの一六〇、二二七人に対し北側出入口から六四、二八六人と大きな差が出ています。



しかしながら、道の駅玄関前は特に狭隘であるため、大型車の通行は危険であり利用の改善が必要と考え、令和元年から敷地内の安全対策の一環として、駐車場改善の計画を進めたものであります。その上で玄関前広

場をイベント広場にし、道の駅の賑わいの創出も考えたいところで玄関前をイベント広場にすする一方、道の駅の緑地帯を削り、駐車場スペースを確保しながら、現在の形に整備致しました。事業の実施にあたっては、令和元年から二年にかけて道の駅運営協議会でも趣旨説明や計画図面を用いた説明をし、関係者の皆様にお願いをしてきたところであります。

駐車場の南側は自家用車、北側は大型車やタクシー優先で、一部自家用車の駐車を可能とし大型車スペースの拡大も安全に駐車出来る配置としております。

深層館と海鮮工房の入場者数に格差があることは認識しております。しかし、イベントがない時に道の駅玄関前広場を開放すれば、入館者数の割合に変化が生まれるかもしれませんが、安全対策上玄関前広場を駐車場として開放することは、考えておりません。

湊屋町長

長 玄関前広場を駐車場として開放することは考えておりません
 湊屋 えておりません

道の駅知床・らうす

平成十年にオープンし、翌年の駅に登録されてから二十六年間同じ形態の利用を進めてきました。



米井 宏喜 議員

外国人観光客の受入環境について

質問

執行方針に外国人観光客の受入環境としてキャンプ場の施設について挙げられていたが、幌萌町のキャンプ場は上水道ではなく湧水を使用しているとの情報がある。観光客が使用する水の安全性が保たれていない情報は、イメージダウンにつながると思うが、今後浄水器などの導入を検討する予定はあるのか。また、現在の外国人のキャンプ場利用状況と令和六年度の利用見込みを聞きたい。

湊屋町長
湧水の検査項目を増やすことを検討。外国人利用者が増加すると思われる。

湊屋町長

「羅臼オートキャンプ場」は緑ヶ丘霊園付近の湧水を利用し、飲料水としての簡易的な水質検査を毎年実施している。今のところ水道水の供給は困難である。現行通りで進めていくが、安全性を高めるために検査項目を増やすなどの検討をする。

外国人宿泊者は年々増加しており、キャンプ場の利用者も増加するものと推測している。

ドローンを活用した「自然との共生」について

質問

ヒグマ対策へのドローンの活用を挙げられているが、それをエゾシカなどの有害鳥獣駆除にも活用していくと、ハンターの成り手不足

への対策にも繋がると思われる。クマ対策とエゾシカ対策は同時進行で行うべきだと思うが、その考えはあるのか。

湊屋町長
エゾシカの有害駆除活動への運用も想定している。

湊屋町長

今後導入予定のドローンには、熱赤外線センサーや忌避音^{きひびお}を出力できる機能を搭載しており、エゾシカの有害駆除に対しても有効に働くと考えている。まだ計画段階だが、夏はヒグマ対策、冬はエゾシカ対策への利用を考えている。これにより、若手ハンターの実践経験の機会を増やすことができると思うので、今後も猟友会のご協力を得ながら、鳥獣捕獲手法の養成や銃猟技術の伝承の場として、より良い環境作りに取り組んでいこうと考えている。

町民と共に取り組むゼロカーボンシティについて

質問

CO₂削減の取り組みとしてペーパーレス化が挙げられているが、現在町民に配られている広報を希望者のみ停止する取り組みを出来ないだろうか。現在はWEBからも閲覧できるので、紙の広報を必要としない町民もいると思われる。この取り組みによって町民にも行政側にも様々な効果が得られると思うが、その取り組みは視野に入れていないのか。

湊屋町長
自治体DX化を推進する中で効率的かつ効果的な広報活動に取り組む。

湊屋町長

広報等のペーパーレス化は、紙代や印刷費の削減、広報編集作業の負担軽減、配付時間の短縮など、業務の効率化と経費の削減が期待できるが、インターネッ





田中 良 議員

「地域資源を活かした活力ある産業のまち」について

質問

- ・「実証的に海業の計画策定に取り組む地区」として応募する「海業」の検討の内容とはどのように考えていますか。
- ・生産年齢人口の減少に伴い様々な業種で人手不足が続いている中、令和六年度はどのような対策を考えていますか。

長 地域資源の価値や魅力を活用し、水産物の消費の増進や交流人口の拡大を図る

湊屋町長

・「海業」とは、地域の漁港を主な拠点として、漁業者や地元住民の所得向上、雇用創出を目的とし

ており、水産庁が中心となり推進策を検討している。

羅臼町では、漁港や道の駅を核として、体験観光の受け入れや、水産物を中心とした特産品の啓発活動、食文化の発信が関係者の連携の下でなされており、海業の推進にあたって、基盤環境が形成されていると考えている。羅臼町としては、羅臼漁港において「大型クルーズ船の漁港係船の実現」と、海洋深層水を活用した「藻場造成によるブルーカーボンの推進」の二点を柱とし、海業に関連する地域振興策として応募した。

・人手不足の雇用対策としては、民間事業者が既に外国人労働者の雇用をしておりますが、国・北海道が主催して雇用に関する事業や相談窓口の情報提供の他、他の関係機関で実施している支援の情報収集に努め、広報等で

情報提供してまいります。

雇用創出支援事業につきましては、雇用のマッチングを企画している企業「おてつたび」を活用するもので、旅をしながら滞在先で働き、その地域で触れ合う機会を創出するものであり、二週間を原則とした短期雇用になります。

令和五年度は、本来雇用主が負担するマッチング手数料の賃金の四分の一や保険料を町の負担とした他、宿泊施設を用意できない場合の住宅の提供をすることで募集したところ、宿泊業、ホタテ漁業や水産加工業の計六事業所で延べ七回、計十八名の雇用があり、令和六年度は、マッチング手数料の二分の一や保険料及び事務手数料を町が雇用主に補助することとし、雇用主がマッチング手数料の二分の一を負担して実施するものであります。

人口減少による少子化に歯止めのかからない現在、少子化に対応した学校規模の適正化は全国的に大きな課題となっており、当町の教育委員会においても、計画的に適正配置について検討を行うことが必要との認識から、計画に則って園児・児童及び学級数について毎年推計を行い、説明及び意見交換をしている。又、適

「子ども一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進」の教育環境の充実について

質問

羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画について、それぞれ現在の進捗状況はどの様になっているのか、又、適正配置計画を策定する期間はどのくらい要しますか。

長 教育的観点のみならず、地域の様々な事業を総合的に考慮して検討しなければならない

教育長

人口減少による少子化に歯止めのかからない現在、少子化に対応した学校規模の適正化は全国的に大きな課題となっており、当町の教育委員会においても、計画的に適正配置について検討を行うことが必要との認識から、計画に則って園児・児童及び学級数について毎年推計を行い、説明及び意見交換をしている。又、適

田中議員その他の質問

正配置計画については、教育委員会で作成し、諮問団体に諮問し、各幼稚園のPTAや各小学校のPTA、各学区の地域住民としっかり協議しながら、令和七年四月からの計画として間に合うように準備を進めてまいります。

・「人と自然が共生し、安全安心に暮らせるまち」について

・「ヒグマ対策ソリューション」の内容とはどのようなものか

・新規狩猟育成事業について、羅臼町のハンターの人数、平均年齢、また、適正なハンター数は何名くらいと考えているのか



山下 竜哉 議員

酪農業の安定経営について

質問

酪農業の安定経営に対し「標津農協や関係各社と連携を図る」と執行方針にあります。何か具体的な対策はお考えでしょうか。

町長 引き続き草地畜産基盤整備事業の推進による支援を行うものであります

湊屋町長

峯浜地区酪農集落の経営実態を把握し、将来にわたり良質な生乳生産を維持するため、引き続き草地畜産基盤整備事業の推進による支援を行うものであります。

ふるさと納税について

質問

寄付額の増額を今後更に目指すため、その対策は如何お考えでしょうか。

町長 特徴的なPRを進めていく

湊屋町長

寄付額の増額に向けた対策として大きく三点の考えがあります。まず一点目に中間業者選定方法の変更、二点目に新たな商品の提供、三点目に広告のタイミング、これらの事に取り組んでまいります。

熊対策について

質問

未来のハンターに対する助成等の見直しはどうかしているか伺います。

町長 様々な補助金や助成制度が活用されている

湊屋町長

「新規猟銃免許取得事業

補助金」で約九万円の助成を行っている他、不要な銃の譲渡の支援等々があり、今後も新規猟銃者に対し負担軽減、人材育成、技術の向上のための支援創設をお願いしているところです。

観光クルーズ船について

質問

観光クルーズは今後益々の集客が見込まれ、更なる発展を目指すための施策は如何お考えかを伺います。

町長 「知床羅臼町体験学習推進協議会」と連携を図る

湊屋町長

SNSを通じ、国内外へ情報発信を強化していく。また、待合所やトイレの施設整備について引き続き国へ要望していきます。

子育て支援（給食費無償化）について

質問

釧路・根室管内で給食費が有償なのは羅臼町のみですが、羅臼町としてこの問題に対する考えを伺います。

町長 学校給食法第十一条において食材の経費は保護者負担とされている

教育長

全国で学校給食無償化の増加は承知していますが、保護者の負担増とならないよう配慮し栄養バランスや量を保持した学校給食を実施することが重要と考えます。

市下議員その他の質問

- ・DXの推進について
- ・ICT活用推進について
- ・一校一園化について
- ・高校存続対策、魅力化支援について





羅臼町議会改革特別委員会議員研修

2月5日

「これからの羅臼町議会の課題」

講師 北海道大学公共政策大学院
教授 山崎 幹根氏



第三期羅臼町議会改革特別委員会が令和五年第四回定例会で設置されました。昨年の統一地方選挙で新人議員も当選したことから、令和二年から羅臼町議会のアドバイザーをしていた北海道大学公共政策大学院教授 山崎幹根氏を招き「これからの羅臼町議会の課題」と題して講演を頂きました。



地方議員の主要な三つの役割 (一) 監視機能 (二) 決定機能 (三) 代表機能が掲げられ、世論調査の結果から「地方議員を良くするために何が大切か」との問いには、「情報公開の推進」「住民参加の機会の増加」「政策立案能力の向上」が重要と答えている。



「町村議会に期待する役割」には「地域の要望の実現」「行政を厳しくチェックする」「住民と行政の橋渡し役」と答えている。地方自治は民主主義の学校で「身近」であるはずが、縁遠い存在になっていると、無投票やなり手不足で悩む地方議会が多いと指摘されています。不特定多数の町民に対して、町議会全体が、個々の議員の活動の実態を知ってもらう働きかけの努力の必要性や女性議員の誕生など、地方議会の存在意識を高める努力をして欲しいと講演されました。



議会の動き

1 月

- 4日 令和6年羅臼消防団出初式
- 7日 令和6年羅臼町20歳のつどい
- 10日 広聴広報常任委員会
- 17日 広聴広報常任委員会
- 23日 町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会（中標津町）
- 30日 北海道議会水産林務委員会随時調査
- 31日 広聴広報常任委員会

2 月

- 2日 令和6年羅臼建設業協会新年交礼会
- 5日 議会改革特別委員会（北海道大学公共政策大学院 山崎教授講演）
- 7日 2024「北方領土の日」根室管内住民大会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 令和6年第1回臨時会
- 22日 全員協議会
- 27日 広聴広報常任委員会
- 29日 議会運営委員会

3 月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 令和6年第1回定例会（1日目）
- 7日 令和6年第1回定例会（2日目）
- 8日 経済文教常任委員会
- 11日 総務民生常任委員会
- 12日 予算審査特別委員会（1日目）
- 12日 議会運営委員会
- 13日 予算審査特別委員会（2日目）
- 14日 予算審査特別委員会（3日目）
- 15日 令和6年第1回定例会（3日目）
- 15日 議会運営委員会
- 29日 広聴広報常任委員会

4 月

- 5日 広聴広報常任委員会
- 12日 広聴広報常任委員会
- 19日 根室町村議会議長会定期総会（中標津町）
- 22日～26日 北海道町村議会議長会・役員優良府県視察研修（群馬県・埼玉県）

議会事務局職員を紹介します



議会担当職員

川上 莉佳

議会事務局長

平田 充

議会事務局次長

堺 勝敏

議会活動を支えてくれる皆さんです。これからもよろしくお願ひします。

編集を終えて

一月一日、新年早々能登半島地震により、死者二四五名、負傷者一、五四五名、家屋被害一三、九九〇棟（四月二日現在）と甚大な被害が発生しました。同じく半島に住む羅臼町民にとっても人ごととは思えない災害が発生しています。

今後三十年以内には千島海溝を震源とする地震の発生も予想されています。知床半島も道路の決壊、土砂崩れ等により陸の孤島となることも予想されます。日頃から、避難場所の確認、防災用品の確保等、災害に対する心構えを十分に備えていきたいものです。

